

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立可部南小学校	校長氏名	加藤 繁	生徒指導主事氏名	勘場 啓史
-----	------------	------	------	----------	-------

**取組事例名 『地域清掃』**

**取組のねらい『キーワード 地域貢献』**

- ・自分たちが日常利用している公園や校外学習で学習活動の場となる河川敷などの清掃活動を通して、地域社会へ貢献していこうとする態度の育成をめざす。
- ・学年，または異学年との交流による活動を通して，力を合わせて活動する喜びや楽しさを経験する。

**取組の具体的内容『キーワード つながり・協力』**

- ・学年ごとに年間 2 回の地域清掃を実施する。（1 年生は 6 年生と一緒に清掃活動を行う）
- ・日頃自分たちが利用している公園や生活科や理科などの学習の中で使う河川敷など，生活や学習との繋がりのある場所の清掃活動を行う。
- ・分別収集を心がけ，どんなゴミが多いか，どんな場所に捨てられているのか，どうすればゴミを減少させることができるのかを考えさせる。

月	学年	場所	月	学年	場所
5	4 年	可部南第 2 公園	11	4 年	可部南第 1 公園・友広神社
6	3 年	根の谷川河川敷	12	2 年	可部南第 2 公園
7	2・5 年	可部南第 1 公園	2	1 年	可部南第 2 公園
9	1・6 年	可部南第 2 公園	2	5 年	可部南第 2 公園
10	3 年	根の谷川河川敷	3	6 年	可部南第 1 公園・友広神社

**取組の課題・創意工夫『キーワード 生活・学習とのつながり』**

○創意工夫 ▲課題

- 1，2 年生については，1 回目の地域清掃を 6，5 年生と一緒に実施することで，清掃の仕方を学ぶことができる。また，異学年交流の場としても活用できる。
- 日常の生活と結びついた場所であったり，学習で利用する場所であったりすることで，児童の関心や意欲を高めることができる。
- ▲ 地域の方が日頃から清掃されているため，ごみの量が比較的少ない。
- ▲ 清掃に適した場所が限られているため，どの学年も同じ場所の清掃になっている。

**取組の成果（効果）『キーワード 今後の活動につなげる』**

- ・ごみの量の多さやごみの種類を知ることで，ポイ捨ての問題点や公共施設を利用する時のマナーについて，学級全体で考え，学習を深めることができた。
- ・多くの児童が清掃活動によって，自分達の住む町のより良い環境づくりに貢献していることを実感することができた。
- ・2 年生と 5 年生，1 年生と 6 年生と一緒に清掃活動をすることで，より親密な関係をつくったり，清掃の仕方や手順を学んだりすることができた。

〈思ったこと・考えたこと〉 6年女子

ペットボトルや缶は、近くに自動販売機のごみ箱があるので、そこに捨てればいいのになあと思いました。かくして捨てるぐらいなら持って帰って捨てる方がいいと思います。ごみ箱を公園に設置すればいいと考えました。ごみ箱を設置すれば、ポイ捨てる人も少しはへると思うからです。それとみんな公園にある注意書きを読んでいないんだと思います。注意書きの看板をもっと見えやすい所に置いたらいいんじゃないかと思いました。



〈思ったこと・考えたこと〉 6年男子

たばこやガラスの破片が思っていたよりもたくさんありました。そして、ぱっと見るとごみはそこまで見つからないけれど、かくれたところにたくさん小さいごみがありました。一番びっくりしたのが、大きいごみも遠慮なく捨ててあることです。いろいろな人が持って帰らなかったり、ごみ箱に捨ててなかったりしていることが分かりました。ポスターなどを作ればいいと思いました。

#### 今後の展開『キーワード 仲間、地域とつながる』

- ・縦割り班を活用して、地域清掃を実施する。
- ・地域の団体や保護者との連携も視野に入れた取組を考える。
- ・清掃場所をもっと増やして、町全体の美化を考えていく。

#### 他校へのアドバイス『キーワード みんながつながる』

児童・生徒の教育や指導に可能な限り地域の教育力を繋げていくこと。地域の教育力を活用することが大切です。ただし、それが児童・生徒や教職員の過度な負担となってしまうのは逆効果になってしまうので、バランス感覚を持って行うことが重要です。